

## 会 議 議 事 録

審議会等の名称	令和6年度 第4回磐田市健康づくり推進協議会
担当部課名	健康福祉部 健康増進課
会議の開催日時	令和7年3月12日(水)午後2時00分～3時00分
会議の開催場所	磐田市総合健康福祉会館(iプラザ2階) ふれあい交流室1
出席者(職・氏名)	委員:11名中10名出席 健康福祉部長、事務局:(健康増進課)課長、健康支援G長、地域保健G長、保健師2名、栄養士1名
議 題	1. 開会 2. 健康福祉部長挨拶 3. 会長挨拶 4. 協議 (1) パブリックコメント結果について (2) 次期「健幸いわた21」計画最終案について (3) 市民向け啓発リーフレット案について (4) 意見交換 5. 連絡事項 6. 閉会
配付資料等の件名	・パブリックコメント結果 ・次期「健幸いわた21」計画最終案 ・市民向け啓発リーフレット案
1. 開会	健康増進課長
2. 健康福祉部長挨拶	<p>昨日3月11日は、東日本大震災から14年ということで、お悔やみとお見舞いの気持ちを強くしたとともに、磐田市としても防災・減災の施策に一層力を入れていかないといけないと感じております。</p> <p>市の救護所は現在11か所指定をしておりますが、来年度から3か所の病院前に救護所を設置していく方針を出させていただきました。中東遠地域は医療従事者数が県内でも少ない地域ですので、開業医の先生方、薬剤師会の皆さんも含めて協議をさせていただき、1人でも多くの命を助ける方法が病院前に設置することではないかと考えた次第でございます。</p> <p>そして今年は、かねてから言われておりました2025年問題ということで、本市においても、高齢化率、後期高齢者割合が増加している状況です。そこに対応していくためには、健康寿命の延伸と若い頃からの生活習慣の改善が非常に大事だと思います。今年度1年間、皆様方に御協議いただいた健幸いわた21の内容を来年度以降、周知に努めてまいります。</p>
3. 会長挨拶	<p>本日の協議会は令和6年度の第4回目の健康づくり推進協議会となります。令和7年度から始まる健幸いわた21の計画案も皆様方の御協力によって、ほぼまとまり、今後12年にわたる磐田市の健康施策として、実施される段階に至ってまいりました。</p> <p>本日の協議会では、パブリックコメントを含めて、最終の御意見をお伺いしていきたいと思っております。この協議会も3月末をもちまして、皆様方の現在</p>

<p>4. 協議 会長</p>	<p>の任期を閉じるということになります。4月からは新たなメンバーによって、協議会が継続されていくこととなりますが、磐田市全ての市民の皆様の生活の質の向上や健康増進のために、引き続き、この協議会が貢献できますことを祈念しております。冒頭の挨拶ではございますが、会長として3年間、仕事を担ってまいりましたが、皆様方の御協力があってこそその3年間だったと思います。本当にありがとうございました。</p> <p>それでは、次第に従って議事を進めます。 事務局より報告をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(1) パブリックコメント結果について (2) 次期「健幸いわた21」計画最終案について (3) 市民向け啓発リーフレット案について</p>
<p>会長</p>	<p>事務局からの報告に関して、何かご意見ご質問ありますでしょうか。 →意見なし それでは順番に委員の皆様より、健康づくり活動や市の施策について、ご意見等一言ずつ発言をお願いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>医師会の立場ですと、生活習慣病の現場での治療や健診などに関わっていますが、やはり医者に来る以前での日頃の生活習慣、食事を含めた習慣が非常に大事なんだと、この協議会に参加して改めて思いました。また、以前から話が出ていた、健診に行かない比率が多いことについては、取り組みやすくするような環境の整備なども同時に大事なのだと感じました。</p> <p>総括や評価のほうでは、できている所、できていない所の評価もしっかりできているようなので、前回までの計画のできなかったことを、どのようにして達成させる方向に持っていけるか、取組を市の方々が一生懸命なさっていらっしゃるの、とても頭が下がる思いです。</p>
<p>委員</p>	<p>私も、もう長いこと、こちらの協議会に携わっていますけども、毎年毎年どんどんブラッシュアップされて内容もよくなってきて、すごく細かいところまで目が行き届くような施策ができているなどと思います。</p> <p>学生さんやお子さんは、ベジファーストなんかはよく知っておられますけども、店頭の方で聞いてみると、案外就業している社会人の方は学びの場所がないので、知っている方が少ないです。逆に、年を重ねていって老人会に入るぐらいの年になると、知っておられます。計画が絵に描いた餅で終わってはもったいないので、どういうふうに市の施策を浸透させていくかということが大事だと思います。</p> <p>ベジファーストは、野菜類を食べてから生理学的には10分位してから体が効いてくるのが本当だそうです。だから野菜類を食べてもらって、それから少し時間をかけた食べ方にしてもらったほうがいいと思います。あと、おかず関係を先に食べて、最後に御飯とお汁で食べる、前から言われている宴会の食べ方がやはり理にかなっているそうです。そういう情報なんかいろいろ変わってきているので、アンテナを張って勉強していきたいと思います。</p>

事務局	<p>市民の方への周知に関しては、皆さんに今日お示ししているリーフレットを最大限活用し、地域の会合や、企業の方、幼稚園や学校等いろいろな世代の方に向けてお伝えしていきたいと思っております。</p> <p>来年度、リーフレット2,000部を周知のために配布する計画です。</p>
委員	<p>私はここで、委員として出席させてもらいまして、新しい分野に携わったなという感じがいたします。計画にも書かれているように、現状はどんな状態か、それをやるための対策はどうか、質の向上をするためにはどうかという、順を追ったものが冊子に出ているので、非常に見やすいです。だからよく研究されてつくられたなっていう印象でございます。</p> <p>私は連合会という立場でやっておりますが、連合会というのは行政の必要な事項を住民に伝えるという、中間的な立場がありますが、行政の言わば下請みたいなところも実はあるんですね。私は磐田支部の支部長という立場なので、ここで出たことは全て伝えております。ただ防災、交通安全とか、本当に強いられてやるようなものが多いもんですから、どうしてもちよっと横に置かれちゃうような感じがあるので、行政のほうから、もっとPRをしていただきたいと思えます。</p>
委員	<p>静岡県といたしましても、健康寿命の延伸と健康格差の縮小、生活の質の向上ということで、静岡県健康増進計画を立てて、健康づくりを推進しております。西部管内は7市町を管轄しております。磐田市以外にも、近隣の袋井市や掛川市の協議会にも出させていただいております。</p> <p>去年の12月24日に発表されました、厚生労働省が3年に1度出している健康寿命の県のランキングでは、静岡県は男女ともに1位と、とても誇らしいと思っております。3年前の前は5位でしたが、3年の間に静岡県として何が課題だったのか分析したところ、脳血管疾患の死亡率が高かったため、基礎疾患となる高血圧予防に力を入れておりました。そうしたところの成果が出たと思っております。今回は1位ですが、ランキングの順位よりも、その年数がきちんと伸びているかということも、見ていかないといけないと思っております。この結果に甘んじることなく、次回の健康寿命もランキング1位になるように磐田市さんとも一緒に連携しながら施策を進めていきたいと思っております。やはり、若年層から、働き盛りの方からの健康づくりがとても重要となってきていると思っておりますので、健康経営の関係でも、一緒に連携しながらできるといいかなと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>また、リーフレットの中で気になったところが、裏面のチェックポイントのところですけども、お酒と煙草のところ、「20歳まではお酒を飲まない」という形があるんですけど、こちらは20歳過ぎた方に、配ることが多いんじゃないかなと思うので、基本的な20歳までというのは、少し横に書いておいて、お酒のところだったら休肝日を設けるとか、煙草のところでは、なるべく禁煙するとか、記載表現についてご検討いただきますようお願いいたします。</p>
会長	<p>健康寿命が県で1位というお話を聞いて、いろんな施策がある中でその一つには脳血管疾患の予防対策があったんじゃないかということです。他</p>

<p>委員</p>	<p>にここが一因になったという原因は何かありますでしょうか。</p> <p>要因分析としては、その施策を一生懸命やったということもそうなんですけれども、やはり市町や医療保険者等、関係団体と連携した結果、このような施策が県民の方に根づいて、県民総ぐるみで健康づくりの展開が図られたということで、その成果が出たんじゃないかと分析はされております。</p>
<p>事務局</p>	<p>先ほど御意見頂いた、お酒と煙草のリーフレットの記載に関しては、成人の方に配ることが多いところも踏まえて、内容に関してもう一度精査させていただければと思っております。</p>
<p>委員</p>	<p>前回の3回目のときに、コラムがたくさんあれば、きっと見てくれるようになるのではという話をさせていただいたんですけども、増やしていただいたりして、すごくいい冊子になったなあ。またリーフレットも見やすいものになって、より市民の方に近づける内容になっているのではないかと思います。</p> <p>子どもの健康は大人の管理で成り立つものでもありますので、このリーフレットや冊子の中で、大人の意識が子どもの生活の質を高めていくのではないかなと思っているので、これをどう活用してもらおうかというところが上手にできたら、朝御飯しっかり食べないといけないなとか、この時間には寝させないといけないなというような必要感というものが出てくるのかなと思っています。行政の方がやるばかりではなく、学校や幼稚園サイドも、懇談会などでこのリーフレットの宣伝PRをして、誰しものが少しでも目にできたらいいなと感じたところです。</p>
<p>委員</p>	<p>健幸いわた21を策定していくに当たり、県や国の関連法律・計画の中で、県の健康増進計画や食育推進基本計画というのは、実は小中学校の養護教諭や栄養教諭はそれを見て勉強して生かしています。ということで、ぜひこのリーフレットについては、小中学校の栄養教諭や養護教諭が目にしていただくと、県はこういうこと言ってるな、それを受けて市はこういうこと言ってるんだよということがすごくつながるなという印象を受けました。計画に基づいてやっていることが体系化されていて、非常にいいなと思いました。</p> <p>小学校・中学校でできることとしましたら、食育や運動のところ。食育は今申し上げたとおり、栄養教諭がすごく頑張っているものですから、地産地消という言葉はかなりスタンダードになって浸透しております。ただ、運動の面については、正直、小学生の体力低下や、中学生は、部活動が学校ではなく、地域に移行することでどう影響していくかというのは大きく懸念しているところです。私個人の意見ですけど、極端に運動量が上がるとはあまり思いません。でも運動することは何かということは、言わなければいけないかなとは思っています。</p> <p>さらに、2024年の全国の小中高では527人が自殺していると。県や磐田市のところまでは把握してないですが、それが毎年更新されて増えているということはやはり、心の問題というのは非常に大きいなと危惧しているところでもあります。</p> <p>この計画が令和18年度までの12年の計画、そこまでに時代は大きく変</p>

	<p>化すると思うんですね。そこを見据えて、中間見直しをやっていただきたい。見直す尺度としてはやはりデジタル化とAIが進む中で、子どもたちの健康がどういうふうになっていくのか、自分はとても気になります。大人もそうじゃないでしょうか。それから、この気候の大幅な変化、これによって人々にどんな影響があるのかは非常に危惧しているところで、今、小・中学校は暑過ぎると、昼休みに外で遊べないんですね。何ならプールもできないと。こんな世の中になっているところで、これから世の中どう変化するか、この計画についても、中間でどんなふうに見直されるかということを目注しております。</p> <p>最後、この資料の50ページの一覧表がそれぞれの年代のステージでどんなことに気をつければいいのか、非常に見やすいなと思いました。リーフレットもとても見やすいんですが、この表では、これを注意すると、健康な生活になっていくんだよというのが一目で分かるかなと思いました。</p>
事務局	<p>先生方の御意見を伺いまして、関係する保育士さんや学校の先生、養護教諭の先生、栄養教諭の先生などと連携をして、よりよく広めていけたらなと思います。</p>
委員	<p>会を重ねていくごとに、市の方のつくっていただいている資料の改善や分かりやすい文面にしてくださって、ありがたいなと思いました。今日配っていただいた、成人の方に配るリーフレット、健康づくりチェックポイントというものなのですが、とても見やすく、ポイントをチェックすることで、目で見て確認ができるので、できていることの把握ができる点ではいいかなと思いました。最後に、この会議に参加させていただきまして、いろんな分野の方のお話を伺うことができとても貴重な経験ができたなと思いました。</p>
委員	<p>企業に勤めていると、ほとんどこういう活動については触れる機会がなく、会社では健康経営についてやっても、皆さんが議論されて、こういう計画をもとに進められていることについては、ほとんど知らなかったもので、本当にいい経験になったなあと感じます。磐田市の現状や課題をもとに施策ができて、次の12年間の計画につながっているということで、すばらしい内容になったのではないかなと思います。</p> <p>盛りだくさんというふうに思える方もいるかと思うんですけど、一つ一つ中身を見るとすごく大事なことですよね。多くの方に、この内容やそれに対する行政の活動を知っていただきたいし、この活動の裾野を広げることが大事だと感じました。裾野を広げて、意見を持っている人が参画して関係者を増やしていくことが大事な活動だと思いました。リーフレットを使って、内容をかみ砕いて広げていくということが、活動の目標を実現に向けていく、一つのキーだというふうに感じました。</p> <p>また企業については、特に中小企業は非常に厳しい時代になってくるなと思います。給料で勝負すると、なるとなかなか難しいため、健康経営の促進は、中小企業にとってすごく大事だと思います。ふじのくに健康づくり推進事業所については、セブンイレブンのお店が入っているところもあります。小さいところでも、経営者が意識を持って、働いている方が健康づくりについて推進していくことの積み重ねが大事だと思います。健康づくり推進事業所</p>

副会長	<p>のコメントを見ると、禁煙分煙対策や健診受診体制の整備、生活習慣改善への取り組み等、ポイントを抑えてコミットしているんですね。そういう事業所が増えると、だんだん裾野が広がって、健康診断もきちっと受けるような形になり、企業という面でも広げていくことが非常に大事だと感じました。</p> <p>健幸いわたの基本理念の心も体もというところで、生き抜くための健康というのも本当に大切だなと思います。小中学生の自殺が増加しているというところで、どう生きる力を鍛えるかが大切になってくると思います。</p> <p>また、健康寿命について、平均寿命との間をどう生き抜くかということも必要になってくると感じました。</p> <p>(健幸いわた21最終案について)</p> <p>22ページの「切れ目のない食育」と書いてありますが、この「切れ目のない」というのは、具体的にはどういうことかなと思いましたので、市の説明があるといいなと思いました。</p> <p>32ページ、20歳まではたばこを吸いません。遵法精神からいくと、やはり20歳ですね。表現としてはいいのかなと思いました。また、加熱式たばこと電子たばこの違いを入れてくださいます、ありがとうございます。そこで、たばこのことですが、たばこを吸う人の肺の写真と、吸わない人の肺の写真が並んで、本当にたばこを吸う人の肺は真っ黒になっているような写真を私も前に見たことがあります。こういうものを見ると一目瞭然だなと思っております。</p> <p>もう一つは、49ページの市民の取組のところ、「困ったときや辛いときに1人で抱え込まず・・・」の部分ですが、どこへ相談したらいいのかわからないことも多いので、関連する相談機関を入れていただければと思います。</p> <p>だんだん世の中変わってきたなと思っておりますので、いろいろ勉強させていただきました。やはり高血圧は非常に多く、ただこれは薬を飲んでいるから少ないような感じがします。そして、血糖値がその代わり増えていますね。血糖値が予備軍だと言われたという同級生等も多いです。</p>
事務局	<p>22ページの「切れ目のない食育」というところですが、市では保育園などの低年齢は市の栄養士が、学校に入ると学校にいる栄養教諭へ担当が変わるという状況の中でも切れ目のない連携を進めています。また、各ライフステージにおいても、切れ目がないように、連携を強化して食育を進めていけたらなというところで、記載をさせていただいております。</p>
会長	<p>一通り御意見を伺いましたが、不足がございましたら、この場でどうぞ。</p>
委員	<p>平均寿命と健康寿命の差について、男性が8.49歳、女性が11.63歳の差があります。この差が、介護が必要な状態、自分では自立できないような状態になるので、平均寿命も伸ばしつつ、この差も縮めていかなければいけないということで、引き続き健康づくりについて御協力をよろしくお願ひしたいと思ひます。</p>
委員	<p>平均寿命と健康寿命の差について順位はありますか。</p>

事務局	<p>差の順位は出ていないと思います。健幸いわた21の中での健康寿命は、平均自立期間というものを使っています。先ほどから話が出ている健康寿命は、市町ごとにすることはできない数値になっています。そのため、市町の計画では、平均自立期間ということで、要介護2になるまでの期間を出しています。よく新聞とかで出ます健康寿命の数値は、国民生活基礎調査での「あなたは日常生活に支障がありますか」という質問に対して、支障があると答えた人に対しての算定の仕方になります。この計画で出している数値と、今お話のあった健康寿命と少し算定の仕方が違うということを御理解していただくと、今の数字をそのまま単純に足しても平均寿命にはならないかなといったところで、補足させていただきました。</p>
委員	<p>健康寿命を延ばすことは一概にいいことばかりではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>健康寿命が延びるということは、介護が必要な時間が短くなり、より自立した時間が長くなるので、磐田市も、全国的にも、健康寿命の延伸を目指して考えているところです。そのために、まずは生活習慣病の予防とその環境づくり、心の健康、自殺予防といったところも含めていろんな取組をする中で、健康寿命の延伸につながっていくように、この計画について周知をしながら来年度以降取り組んでいきたいと考えております。</p>
会長	<p>いろいろ御意見を伺いましてどうもありがとうございました。以上をもちまして本日の議事は終了いたしました。進行を事務局にお返しいたします。</p>
5.連絡事項 事務局	<p>本日委員の皆様からいただいたご意見等を参考に計画と市民向け啓発リーフレットを完成させていきます。1年間、計画策定に関して多岐にわたるご意見をいただきましてありがとうございました。</p> <p>最後に、今年度をもちまして、委員皆様の任期が終了となります。皆さまお忙しい中、本協議会にご協力いただき誠にありがとうございました。</p> <p>連絡事項 ・計画、市民向け啓発リーフレットの送付について</p>
6.閉会 事務局	<p>それでは、以上をもちまして、令和6年度 第4回磐田市健康づくり推進協議会を終了いたします。</p>